

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年6月16日
【四半期会計期間】	第14期第3四半期（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）
【会社名】	ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社
【英訳名】	Universal Solution Systems Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 青木 毅
【本店の所在の場所】	東京都港区虎ノ門一丁目17番1号
【電話番号】	03-6858-0411（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 村上 孝徳
【最寄りの連絡場所】	東京都港区虎ノ門一丁目17番1号
【電話番号】	03-6858-0411（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 村上 孝徳
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成22年4月20日に第14期第3四半期報告書（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）の訂正報告書を提出いたしましたが、主に以下の事項を反映させることに伴い、記載事項の一部を訂正する必要が生じたため、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、本訂正報告書を提出するものであります。

平成22年4月20日に第14期第3四半期報告書（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）の訂正報告書提出後、内部調査委員会の調査により、訂正内容に修正を要する事項が認められたことから、新たに検証作業を実施した結果、記載事項の一部を修正する必要が発生していることが判明しましたので修正を行うことにしました。

なお、今回の訂正による当第3四半期会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）及び当第3四半期累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）の四半期財務諸表に与える影響はありません。

また、四半期財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所については、XBRLデータの修正も行っておりますので、併せて訂正後のXBRLデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第5 経理の状況

2 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(2) 四半期連結損益計算書

前第3四半期累計期間

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期累計期間

注記事項

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は__線で示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第13期 第3四半期 累計期間	第14期 第3四半期 連結累計期間	第13期 第3四半期 会計期間	第14期 第3四半期 連結会計期間	第13期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(千円)	<u>1,659,464</u>	1,318,562	522,397	575,172	1,997,333
経常利益又は経常損失(△) (千円)	<u>△329,910</u>	△174,883	△187,691	7,122	△517,338
四半期(当期)純損失(千円)	<u>353,890</u>	612,518	213,820	31,275	578,887
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	—	—	—	—	—
資本金(千円)	—	—	968,150	1,326,990	968,150
発行済株式総数(株)	—	—	69,734	235,224	69,734
純資産額(千円)	—	—	<u>278,179</u>	195,593	53,182
総資産額(千円)	—	—	<u>998,677</u>	937,079	709,008
1株当たり純資産額(円)	—	—	<u>3,989.15</u>	673.16	762.64
1株当たり四半期(当期)純損失金額(円)	<u>5,287.15</u>	3,477.28	3,066.22	143.01	8,560.39
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	—	—	—	—	—
1株当たり配当額(円)	—	—	—	—	—
自己資本比率(%)	—	—	<u>27.9</u>	16.9	7.5
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△123,168	11,978	—	—	△169,262
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△133,101	△40,577	—	—	△141,680
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	89,860	404,021	—	—	116,042
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	—	—	83,465	430,179	54,909
従業員数(人)	—	—	86	184	78

- (注) 1 第13期第3四半期累計(会計)期間及び第13期事業年度は四半期連結財務諸表及び連結財務諸表を作成していないため、第13期第3四半期連結累計期間、第13期第3四半期連結会計期間及び第13期連結会計年度に代えて第13期第3四半期累計期間、第13期第3四半期会計期間及び第13期事業年度について記載しております。
- 2 売上高には、消費税等は含んでおりません。
- 3 第13期第3四半期累計期間、第13期第3四半期会計期間及び第13期事業年度の持分法を適用した場合の投資利益は、関連会社の損益等からみて重要性が乏しいため記載しておりません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

(訂正後)

回次	第13期 第3四半期 累計期間	第14期 第3四半期 連結累計期間	第13期 第3四半期 会計期間	第14期 第3四半期 連結会計期間	第13期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(千円)	1,654,464	1,318,562	522,397	575,172	1,997,333
経常利益又は経常損失(△) (千円)	△334,910	△174,883	△187,691	7,122	△517,338
四半期(当期)純損失(千円)	358,890	612,518	213,820	31,275	578,887
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	—	—	—	—	—
資本金(千円)	—	—	968,150	1,326,990	968,150
発行済株式総数(株)	—	—	69,734	235,224	69,734
純資産額(千円)	—	—	273,179	195,593	53,182
総資産額(千円)	—	—	998,927	937,079	709,008
1株当たり純資産額(円)	—	—	3,917.45	673.16	762.64
1株当たり四半期(当期)純損失金額(円)	5,361.86	3,477.28	3,066.22	143.01	8,560.39
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	—	—	—	—	—
1株当たり配当額(円)	—	—	—	—	—
自己資本比率(%)	—	—	27.3	16.9	7.5
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△123,168	11,978	—	—	△169,262
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△133,101	△40,577	—	—	△141,680
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	89,860	404,021	—	—	116,042
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	—	—	83,465	430,179	54,909
従業員数(人)	—	—	86	184	78

- (注) 1 第13期第3四半期累計(会計)期間及び第13期事業年度は四半期連結財務諸表及び連結財務諸表を作成していないため、第13期第3四半期連結累計期間、第13期第3四半期連結会計期間及び第13期連結会計年度に代えて第13期第3四半期累計期間、第13期第3四半期会計期間及び第13期事業年度について記載しております。
- 2 売上高には、消費税等は含んでおりません。
- 3 第13期第3四半期累計期間、第13期第3四半期会計期間及び第13期事業年度の持分法を適用した場合の投資利益は、関連会社の損益等からみて重要性が乏しいため記載しておりません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

第5【経理の状況】

2 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び前第3四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けております。

また、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、前第3四半期会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び前第3四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期財務諸表並びに前事業年度（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の財務諸表について、優成監査法人による四半期レビュー又は監査を受けており、改めて四半期レビュー報告書又は監査報告書を受領しております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び前第3四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けております。

また、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、再度四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、前第3四半期会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び前第3四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けており、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

1 【四半期連結財務諸表】
(2) 【四半期連結損益計算書】
【前第3四半期累計期間】
(訂正前)

	(単位：千円)
	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	1,659,464
売上原価	1,413,332
売上総利益	246,132
販売費及び一般管理費	※ 582,346
営業損失(△)	△336,214
営業外収益	
受取利息	478
受取手数料	19,047
その他	76
営業外収益合計	19,602
営業外費用	
支払利息	5,760
資本業務提携関連費用	6,000
その他	1,538
営業外費用合計	13,299
経常損失(△)	△329,910
特別利益	
投資有価証券売却益	9,154
特別利益合計	9,154
特別損失	
減損損失	26,619
投資有価証券評価損	3,859
リース解約損	263
特別損失合計	30,742
税引前四半期純損失(△)	△351,499
法人税、住民税及び事業税	2,391
四半期純損失(△)	△353,890

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	1,654,464
売上原価	1,413,332
売上総利益	241,132
販売費及び一般管理費	※ 582,346
営業損失 (△)	△341,214
営業外収益	
受取利息	478
受取手数料	19,047
その他	76
営業外収益合計	19,602
営業外費用	
支払利息	5,760
資本業務提携関連費用	6,000
その他	1,538
営業外費用合計	13,299
経常損失 (△)	△334,910
特別利益	
投資有価証券売却益	9,154
特別利益合計	9,154
特別損失	
減損損失	26,619
投資有価証券評価損	3,859
リース解約損	263
特別損失合計	30,742
税引前四半期純損失 (△)	△356,499
法人税、住民税及び事業税	2,391
四半期純損失 (△)	△358,890

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

【前第3四半期累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△351,499	
減価償却費	181,024	
株式交付費償却	688	
社債発行費償却	125	
リース解約損	263	
減損損失	26,619	
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,859	
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	30,835	
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,734	
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	359	-
受取利息及び受取配当金	△478	-
支払利息	5,760	
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9,154	
売上債権の増減額 (△は増加)	△77,045	
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,488	-
仕入債務の増減額 (△は減少)	31,982	
未払金の増減額 (△は減少)	35,699	-
その他の資産の増減額 (△は増加)	20,094	-
その他の負債の増減額 (△は減少)	11,379	
小計	△113,707	
利息及び配当金の受取額	478	
利息の支払額	△6,468	
リース解約による支出	△263	
法人税等の支払額	△3,208	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△123,168	
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,238	
投資有価証券の取得による支出	△18,000	
投資有価証券の売却による収入	15,290	
貸付けによる支出	△9,197	
定期預金の預入による支出	△10,000	
出資金の払込による支出	△1,000	
ソフトウェアの取得による支出	△43,995	
ソフトウェアの製作による支出	△56,965	
敷金及び保証金の増減額 (△は増加)	5	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133,101	

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	190,000	
短期借入金の返済による支出	△50,600	-
長期借入金の返済による支出	△8,168	
社債の償還による支出	△200,000	
新株予約権付社債の発行による収入	95,000	
新株予約権付社債の発行による支出	△646	
株式の発行による収入	104,500	
株式の発行による支出	△2,152	
未払金の返済による支出	△38,072	
財務活動によるキャッシュ・フロー	89,860	-
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△166,410	-
現金及び現金同等物の期首残高	249,876	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 83,465	

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△356,499	
減価償却費	181,024	
株式交付費償却	688	
社債発行費償却	125	
リース解約損	263	
減損損失	26,619	
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,859	
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	30,835	
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,734	
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	359	-
受取利息及び受取配当金	△478	-
支払利息	5,760	
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9,154	
売上債権の増減額 (△は増加)	△77,045	
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,488	-
仕入債務の増減額 (△は減少)	31,982	
未払金の増減額 (△は減少)	35,699	-
その他の資産の増減額 (△は増加)	19,844	-
その他の負債の増減額 (△は減少)	16,629	-
小計	△113,707	
利息及び配当金の受取額	478	
利息の支払額	△6,468	
リース解約による支出	△263	
法人税等の支払額	△3,208	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△123,168	
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,238	
投資有価証券の取得による支出	△18,000	
投資有価証券の売却による収入	15,290	
貸付けによる支出	△9,197	
定期預金の預入による支出	△10,000	
出資金の払込による支出	△1,000	
ソフトウェアの取得による支出	△43,995	
ソフトウェアの製作による支出	△56,965	
敷金及び保証金の増減額 (△は増加)	5	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133,101	

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	190,000	
短期借入金の返済による支出	△50,600	-
長期借入金の返済による支出	△8,168	
社債の償還による支出	△200,000	
新株予約権付社債の発行による収入	95,000	
新株予約権付社債の発行による支出	△646	
株式の発行による収入	104,500	
株式の発行による支出	△2,152	
未払金の返済による支出	△38,072	
財務活動によるキャッシュ・フロー	89,860	-
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△166,410	-
現金及び現金同等物の期首残高	249,876	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 83,465	

【注記事項】

(1株当たり情報)

(訂正前)

1 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	
1株当たり純資産額	673.16円

前事業年度末 (平成21年3月31日)	
1株当たり純資産額	762.64円

2 1株当たり四半期純損失金額

前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純損失金額	5,287.15円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額	
四半期純損失(千円)	353,890
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純損失(千円)	353,890
普通株式の期中平均株式数(株)	66,934
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	—

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
1株当たり四半期純損失金額	3,477.28円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額	
四半期純損失(千円)	612,518
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純損失(千円)	612,518
普通株式の期中平均株式数(株)	176,149
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	平成20年6月25日開催の定時株主総会の決議によるストック・オプション(新株予約権) 普通株式 8,500株 新株予約権数 8,500個 なお、概要は「第4提出会社の状況、1株式等の状況、(2)新株予約権等の状況」に記載の通りであります。

前第3四半期会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純損失金額	3,066.22円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第3四半期会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額	
四半期純損失(千円)	213,820
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純損失(千円)	213,820
普通株式の期中平均株式数(株)	69,734
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	—

当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	
1株当たり四半期純損失金額	143.01円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額	
四半期純損失(千円)	31,275
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純損失(千円)	31,275
普通株式の期中平均株式数(株)	218,702
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	平成20年6月25日開催の定時株主総会の決議によるストック・オプション(新株予約権) 普通株式 8,500株 新株予約権数 8,500個 なお、概要は「第4提出会社の状況、1株式等の状況、(2)新株予約権等の状況」に記載の通りであります。

(訂正後)

1 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	
1株当たり純資産額	673.16 円

前事業年度末 (平成21年3月31日)	
1株当たり純資産額	762.64 円

2 1株当たり四半期純損失金額

前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純損失金額	5,361.86 円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額	
四半期純損失(千円)	358,890
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純損失(千円)	358,890
普通株式の期中平均株式数(株)	66,934
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	—

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
1株当たり四半期純損失金額	3,477.28円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額	
四半期純損失(千円)	612,518
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純損失(千円)	612,518
普通株式の期中平均株式数(株)	176,149
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	平成20年6月25日開催の定時株主総会の決議によるストック・オプション(新株予約権) 普通株式 8,500株 新株予約権数 8,500個 なお、概要は「第4提出会社の状況、1株式等の状況、(2)新株予約権等の状況」に記載の通りであります。

前第3四半期会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純損失金額	3,066.22円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第3四半期会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額	
四半期純損失(千円)	213,820
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純損失(千円)	213,820
普通株式の期中平均株式数(株)	69,734
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	—

当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	
1株当たり四半期純損失金額	143.01円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額	
四半期純損失(千円)	31,275
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純損失(千円)	31,275
普通株式の期中平均株式数(株)	218,702
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	平成20年6月25日開催の定時株主総会の決議によるストック・オプション(新株予約権) 普通株式 8,500株 新株予約権数 8,500個 なお、概要は「第4提出会社の状況、1株式等の状況、(2)新株予約権等の状況」に記載の通りであります。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年6月16日

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社

取締役会

御中

優成監査法人

指定社員

公認会計士

加藤善孝

印

業務執行社員

指定社員

公認会計士

本間洋一

印

業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているユニバーサルソリューションシステムズ株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第13期事業年度の第3四半期会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期会計期間及び第3四半期累計期間の経営成績並びに第3四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

- 第5【経理の状況】2監査証明についてに記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期財務諸表について四半期レビューを行った。
- 継続企業の前提に関する注記に記載されているとおり、会社は前々事業年度、前事業年度において営業損失、当期純損失を計上し、当第3四半期累計期間においても、営業損失341,214千円、四半期純損失358,890千円を計上している。また、営業活動によるキャッシュ・フローも、前事業年度に引き続きマイナスになっている状況において、平成20年12月に償還した社債の償還資金として調達した短期借入金170,000千円があり、今後のキャッシュ・フローの状況に影響を与える可能性があることから、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在している。当該状況に対する会社の対応等は当該注記に記載されている。四半期財務諸表は継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期財務諸表には反映していない。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。